

## 東京都有明地区公営葬斎場の設計 水空間を活用した火葬場の提案

指導：教授 坪山 幸王  
助手 佐藤 信治

M3019 長坂 悠司

### 1.はじめに

これまでの火葬場は近代化の流れの中、終末処理施設として扱われ人々から火葬を行う場とその行為に対して嫌悪感と偏見をもたれてきたが、現在多くの火葬場でこれまでのイメージを払拭すべく精神的な儀式的場として建て替えが進められている。しかしながら大都市における火葬場は都市の終末処理施設としての色合いがまだ強く必要な機能だけを詰め込んだ建物となっている。

一方、日本の首都であり、最大の人口を抱える東京 23 区の火葬場は全国的に見ても 10 万人あたりの火葬炉が 1.24 基と少なく、また公営斎場 2 ヶ所、民間斎場 7 ヶ所と極めて高い民間依存率であるため、公営の火葬場の建設が必要である。

そこで、本計画では人口の増加が目立つ東京港周辺と東京中心部を対象エリアとし、有明貯木場跡埋立地北端に水辺環境を取り入れた都営葬祭場として計画・設計するものである。

の構成と設置規準に関する研究」の算定表を用いて敷地・建築面積・各所室の規模について算定する。

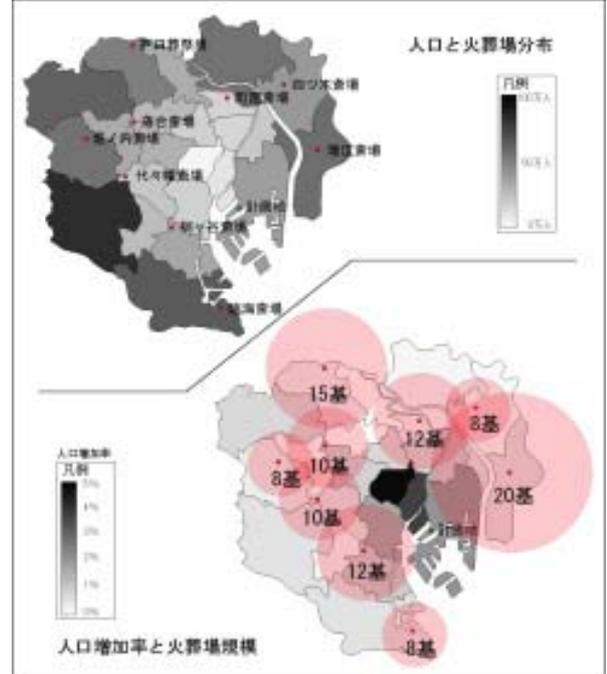
### 2.計画背景

#### 2-1 東京における火葬場分布

現在、東京 23 区には東京都営の瑞江斎場と、複数の区で運営する臨海斎場、民営では東京博善社の町屋斎場・四ツ木斎場・桐ヶ谷斎場・代々旗斎場・落合斎場・堀ノ内斎場、と戸田葬祭場の、9 つの斎場がある。伝染病対策とされた歴史的背景により都心部をさけて周辺部に分布していることがわかる。これを火葬場の分布と比較すると、江東区・世田谷区・大田区で不足しているように見える。しかし同区が設立した臨海斎場が設立したこれらの区民を対象としているため、問題はないといえる。各斎場を規模別に見ると、瑞江斎場の 20 基を最大として、戸田葬祭場の 15 基、町屋斎場の 12 基、桐ヶ谷斎場の 12 基、落合斎場の 10 基、代々旗斎場の 10 基、四ツ木斎場の 9 基、堀ノ内斎場の 8 基、臨海斎場の 8 基となっている。規模を円であらわした図を見ると 23 区中心部と臨海部に火葬場が少ないことがわかる。

次に、先ほどの斎場の規模と人口増加率との比較をみると火葬場の分布が少ない千代田区・中央区・江東区が最も人口増加が急速に進んでいることがわかる。上記の点から、都心に極めて近い臨海部に、都営瑞江斎場と同

規模の火葬場の必要性が今後急速に高まると考えられる。



### 3.基本計画

#### 3-1 基本方針

##### 3-1-1 新しい都市型葬祭場

都市の葬祭の形態は急速に変化し続けている。しかしながら、現在の都市の葬祭場はその変化に対応できていない。また、外国人の増加に伴い様々な宗教・宗派の人々が利用することになる。会葬者が参加できる時間が様々であり、24 時間対応も考慮する。これらの要望を取り入れるとともに、今後も変化するであろう葬祭に対応できる構成とする。現在、戸田斎場で対応している散骨についても希望者が増えていることから本計画でもこれに対応し、さらに、震災への備えとして役割を果たせる計画とする。

##### 3-1-2 儀式的場としての火葬場

現在、東京 23 区の火葬場の多くが住宅街の中にある。これは、もともと火葬場があったところに住宅が立ったためであるが、死者を送り出すことは日常から非日常への転換が必要であり、利用者側に立ってみても立地として好ましくない。しかしながら現在の東京で住宅街から完全に分離することは不可能である。したがってゆとり

をもって敷地を確保し、敷地内の配置計画、ランドスケープ、建物自体の計画が一つになる計画とする。

3-1-3 都営斎場としての役割

東京都の火葬場は73%を民間に依存している。民間であることから利益を追求し、無駄の無い機能だけを追求した施設になっている。昨年、公営斎場として60年ぶりに設立された臨海斎場も民間斎場に近いものを目指したとしている。しかしながら本来、火葬という行為自体が単なる遺体の処理ではなく、故人を送り出す儀式であり、その儀式を行うにふさわしい精神性の高い施設として、民間斎場の指標となるべき斎場を計画するものである。

3-2 敷地選定

東京臨海副都心と東京都心部を対象とする都営斎場にふさわしい敷地として東京都が所有する有明貯木場跡埋立地35haの北端3.5haに設定する。有明北地区の利点、1)戦後の東京の発展を支えてきた貯木場機能の移転、を背景に、土地の利用転換求められている場所



図-3 敷地周辺図

であり、大規模な土地の確保が可能である。2)都心と臨海副都心ともアクセスが容易である。3)旧防波堤上の木々によって豊洲地区の賑わいをさえぎり、敷地からは水と緑の景観が広がる。4)北西と北東の2面を水面に接しているため周辺の住居から距離をとることができる。5)旧貯木場の水面に海洋葬の船を接岸できる。6)アクセス、計画地は晴海通りに隣接した1街区であり、営団有楽町線・豊洲駅、東京臨海高速鉄道・東雲駅、東京臨海新交通「ゆりかもめ」・有明北駅(仮)からともに1500m以内であり送迎バスを運行することで、車の利用者、電車の利用者ともに利便性が高く、また、幹線道路では環状二号線(幅員50m/H20年)、晴海通り(幅員60m/H20年)、補助315号線(幅員40m/H27年)が整備予定であり、公共交通機関では東京臨海新交通「ゆりかもめ」を延伸し、豊洲駅に接続される予定である。

3-3 規模算定

火葬場の設置規準に関する研究(厚生労働省生活衛生局企画課 監修)の算定式、処理対象人口×平均年間死亡率×火葬率×月最大変動係数÷平均年間稼働日数を用いる。東京23区においては、処理対象人口839万人、平均年間死亡率0.01%、火葬率99.9%、月最大変動係数1.5、平均年間稼働日数は友引と年末年始を除いた304日となる。これに予備の火葬炉を考慮すると、現在24基の火葬炉が不足していることになる。本計画地は今後人口が増えることが予想されるため都営瑞江斎場と同規模の20基程度の規模が望まれる。炉数20基程度の規模

から、全国111斎場を対象に統計をした「火葬場の敷地・建築面積の構成と設置規準に関する研究」の算定表を用いて敷地・建築面積・各所室の規模について算定する。敷地面積35000㎡建物用地9500㎡駐車台数140台駐車場6000㎡構内道路7000㎡庭園部分3000㎡環境緑地等9500㎡となり火葬棟は3825㎡斎場棟は1540㎡待合棟は2535㎡となる各所室の規模は表-3のようになる。

表-3 敷地面積・建築面積の試算

面積の試算		火葬部門		斎場部門		待合部門		その他	
市街地で斎場がある場合		エントランス	400	エントランス	275	エントランス	220	渡り廊下	400
計画炉数	基	告別室	360	斎場	800	待合ロビー	820	ヒロティ	1000
対象人口	方	炉前ホール	680	遺族控室	170	待合室	820		
立地場所		見送りホール	240	備前控室	50	給湯室	50		
市街地		収容室	360	葬者控室	50	売店	80		
同時使用件数	件	3機型		霊安室	55	便所	80	事務室	110
建物の構成		有		炉室	550	倉庫	55	便所	165
斎場(有無)		有		作業員室	140	廊下等	60	倉庫	50
駐車台数	台	制御室	85	機械室	550			廊下等	220
建物用地	m	電気室	120	倉庫	110				
構内道路	m	廊下等	175	廊下等	175				
駐車場	m	小計	3825	小計	1540	小計	2535	合計	9300
庭園部分	m								
環境緑地等	m								
敷地合計	m								

3-4 機能構成

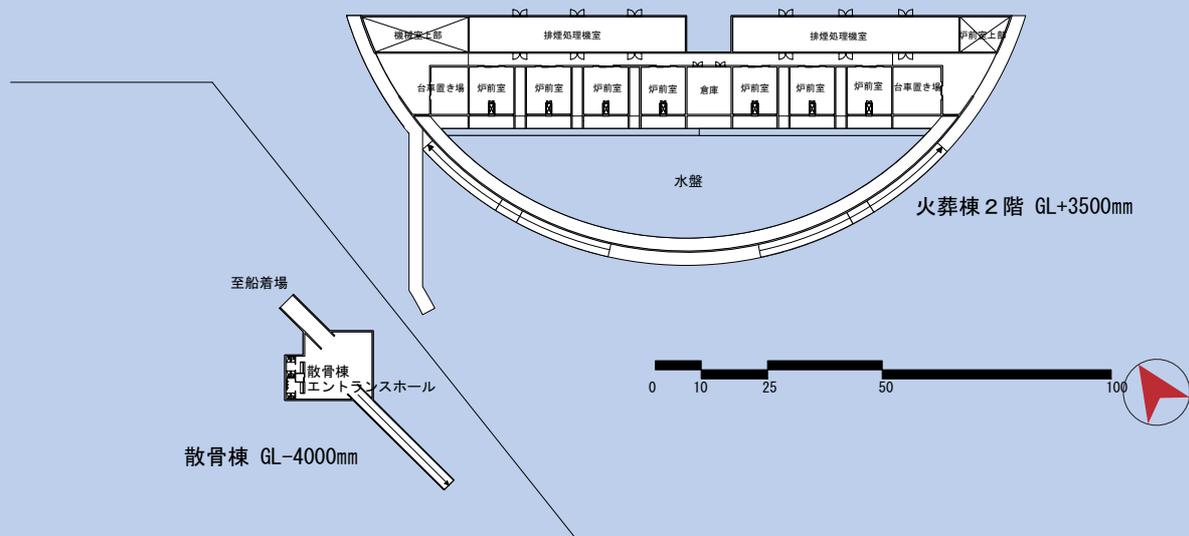
火葬場の機能構成としては、主たる施設である火葬場部門、待合部門、管理部門を配置することが一般的である。しかし、近年の核家族化の進行、世帯当たりの居住面積の減少や大部屋確保の困難等から葬儀を外部施設で行うことが増加しており、特に都市においてはその傾向が強い。従って、利用者の利便性や経済性等から火葬場内の火葬棟や待合棟に併設して様々な規模や形態の葬儀に対応できる斎場をもった斎場棟を設ける。さらに、最近急速に広まりつつある海洋散骨のための船舶が着岸する施設と散骨前後の待合室を合わせて散骨棟として付属させる。



図-4 部門構成図

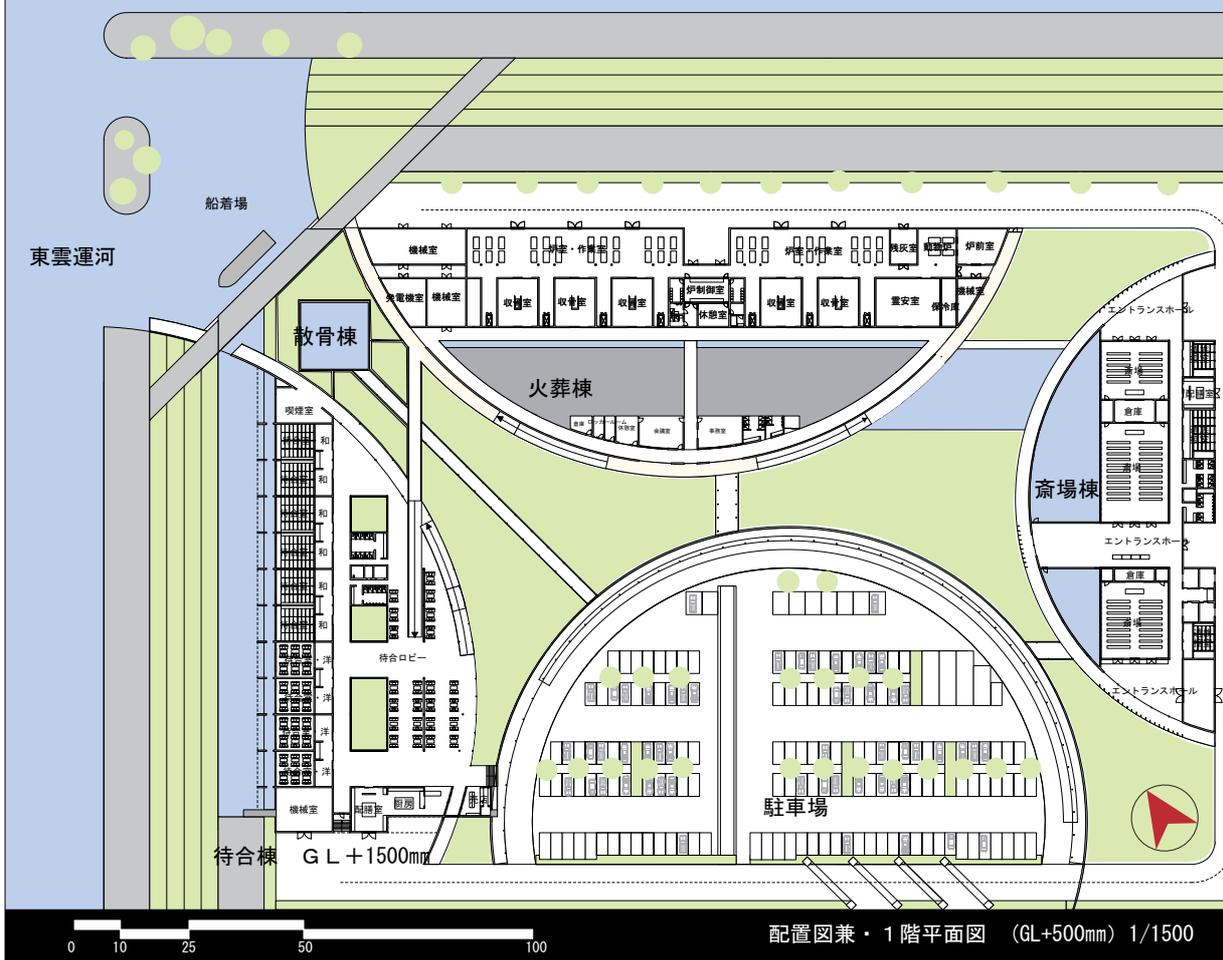
3-5 設計コンセプト

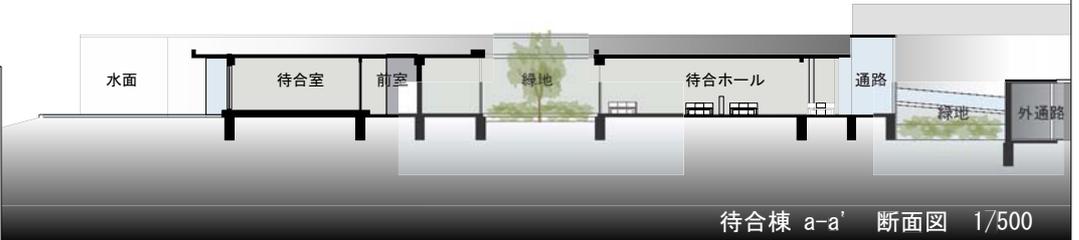
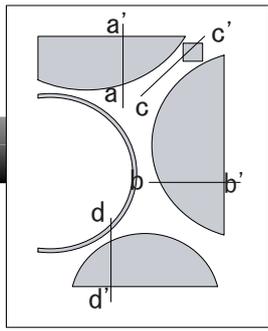
葬斎場は単なる遺体の処理の場ではなく死者を送り出す儀式の場であることを象徴すべく、各部門を切り離しシーンの転換を明確にする。このため部門ごとに円弧の外部通路で囲い、このことにより平面的に奥行きをまし日常空間との距離をつくり出す。また円弧状の外部通路は、周囲の高い建物からの視線をさえぎり、会葬者には臨海部の特徴である大きく開けた空だけを視界に入れることが出来る。また部門ごとの特性に合わせ、水辺と関わりをつくるとともに、水辺とのかかわりに向かない部門では内側に水面をつくり葬送空間の演出を図る。



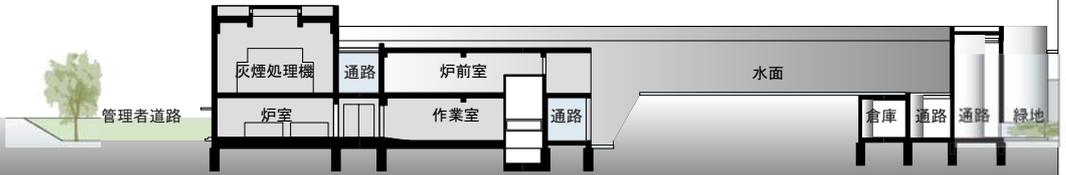
地下階平面図 (GL-3500mm) 1/1500

2階平面図 (GL+4000) 1/1500

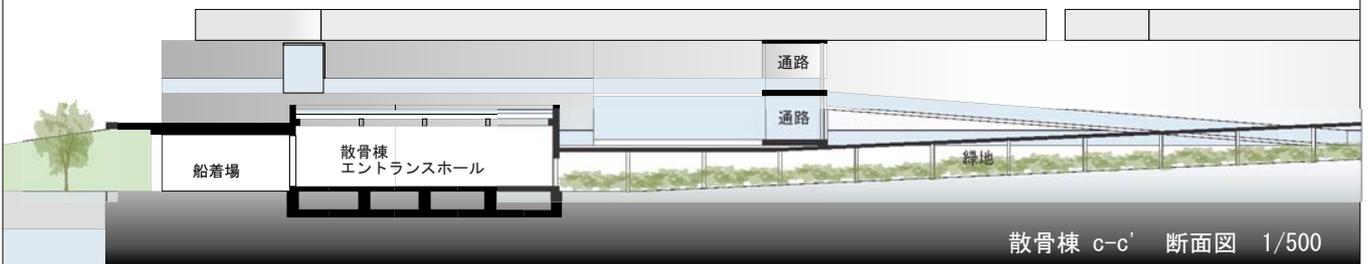




待合棟 a-a' 断面図 1/500



火葬棟 b-b' 断面図 1/500



散骨棟 c-c' 断面図 1/500



斎場棟 d-d' 断面図 1/500



内観パース  
模型鳥瞰写真

